



会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

さくら

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30-13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会長 上野三郎
幹事 佐藤順治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ

SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第 951 号

1978. 4. 4 (火) (雨)

No.38

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 国歌 斉唱
3. ロータリーソング (奉仕の理想)
4. ビジター・ゲスト紹介
5. 会員及び奥様誕生 祝親睦活動委員会
6. 年間皆出席者表彰 出席委員会
7. 会長報告
8. 幹事報告
9. 委員会編成について
10. 国内旅行の報告
11. ハワイ雑感
12. 同
13. 出席報告
14. 点 鐘

次期会長 三井 健君
ブレントン君
市川輝雄君
阿部 襄君

■ ビジター紹介

林 権之助君 (電気器具配布) 五十嵐喜美雄君 (商業銀行)
上野十九治君 (空調設備) 佐藤 拓君 (内科)
笹本森雄君 (ホテル) 半田 勇三郎君 (生命保険) } 鶴岡西 R.C
半田茂弥君 (石油配布)
佐藤昭吉君 (建設) 一温海 R.C

■ スマイル

石川 寿男 君 一工場新築、住宅新築及び長男の結婚。
鈴木 弥一郎 君 一近火に際し類焼をまぬかれ又、御見舞に感謝。
板垣 広志 君 一市営駐車場の建設無事落成に感謝。

■ 会員及び奥様誕生

<会員誕生> 飯白祐佑君、新穂光一郎君
<奥様誕生> 市川芳子様(輝雄)、中江道子様(亮)、笹原郁子様(桂一)、新穂瑠璃子様(光一郎)。

■ 年間皆出席表彰

18年間皆出席 鈴木善作君、安藤定助君 15年間皆出席 石黒慶之助君
13年間皆出席 佐藤 忠君 12年間皆出席 阿部 襄君
6年間皆出席 飯白祐佑君 3年間皆出席 石川 寿男君
3月130%出席 阿部襄君、市川輝雄君、風間慶三君。
3月100%出席 54名

■ 会長報告

1. 本日開催の定例理事会での協議決定事項
石倉健司君より、3月30日付書面をもって退会の申し出がありましたが、同君の勤務の実状から考え、又最近の出席状況からみて、退会を承認することに決定いたしました。
2. 財団法人ロータリー米山記念奨学会より、かねて阿部襄君の仲立ちで当クラブで奨学生候補として推せんしていた台湾出身、山大農学部4年在学中の葵慶隆君が一奨学生に採用され、この4月から1年間奨学金を支給する旨の通知がありました。

■ 幹事報告

1. 会報到着 酒田東 R.C
2. 第5回クラブ協議会開催ご案内
標記クラブ協議会を下記に依り開催致しますので常任委員長、特定委員長以外の方も多数ご出席下さい。
記 (1) 日時 4月11日(火) 16:00~18:00協議会 18:00~20:00懇親会
(2) 場所 昭和町 住よし
(3) 協議事項 4月~6月の活動計画再確認
(4) 会費 2,500円(当日ご持参下さい)
(5) 申込出席希望者は大至急事務局に申し込んで下さい。
(6) その他活動計画書ご持参下さい。

■ 委員会編成について

次期会長 三井 健君

1978～1979鶴岡R.C理事、役員、委員の構成が別表（4月4日配布済）の通り発表されました。

■ 会員スピーチ ハワイ雑感

市川輝雄君 阿部 襄君

例会場は近くのリージェントホテルの大食堂で厚いジュータン、豪華なシャンデリアのすばらしい会場だった。中央に一段高い役員席、演壇があり、星條旗がかかっている。その前のメインテーブルに私達とホンダパストガバナー、ジョンランダース、ローターアクト委員長（R. I. D500）が座った。ランダース氏は戦後、山形県神町に軍人として駐留したことがあるとかで、片言の日本語を話すことが出来た。

食事はバイキング料理でセルフサービス（ハワイは殆どこれが多い、自分の好きなものを好きなだけという合理主義からだろう）料理数は13品位あるし、デザートのカッキーやパブロアまでである。5ドルのメーク代は安し。食事中に点鐘、起立に一同星條旗に向い胸に手をあてて忠誠を誓うのには驚いた。恐らくS. A. Aのメンバーと思うが10人位の合唱団が音頭をとって“ウェルカムワイキキロータリー”の大合唱、節は行進曲“錨をあげて”の曲なので誰でも唄い易い、ローターアクトの皆さんもどうぞと机上の歌詞を渡された。

会長挨拶、ビジター紹介、ビジターは一列に並びクラブ名、氏名、職業など自己紹介する。全米から連日のように沢山のロータリアンがメークにくるのでS. A. Aも大変であるが非常によく接待していた。

バナーも交換しきれないのか、サーフィンボードに形どったものを渡していた。室の一角にロータリーマークのついたアロハシャツコーナーがあり遠来の客にシャツを売ってクラブ資金にするのも珍しいことである。

スマイルも自主申告して次々に立つ、幹事報告などの次に地区ローターアクト委員長ランダース氏が私達を紹介に立ち、団員一人づつ名前を読みあげて紹介、副団長の野崎君が記念品の贈呈、そのあと私が挨拶をした。大勢の前で英語で挨拶するのは始めてで冷汗ものだったが、どうやら通じて何よりだった。

後半のプログラムに丁度イースター（復活祭）にあたるので、ある有名な歌手が宗教歌を（讚美歌ではない）すばらしい声量で歌った。ある二世の会員に云わせると、どうもキリスト教的なプログラムが多くなって困るという話もあった。ハワイの宗教は生活している人達の文化的背景が異っているのを反映して誠に幅広い洋の東西を問わず殆どすべての宗教、宗派がでそろった感じで仏教も教会に似た日曜礼拝システムをとっているらしいワイキキロータリークラブの心からの歓迎をうけ会長・幹事の見送りをうけて例会を辞した。

会員の方達のご好意で自家用車に分乗してハワイ大学に向う。広々としたキャンパス、ゆったりと建てられた校舎、ハワイ唯一の総合大学で多くの分野で世界一の折紙がつけられている。創立は1902年とのこと、熱帯の草花が点在して美しい。ラルフ本田氏の案内で校内を一巡、各国からの留学生も多く大学の雰囲気うまくとけこんでのびのびと勉学にいそしんでいる。

ホノルルのローターアクトクラブ員は大学生がほとんどで連絡をつけたが、授業の都合でとうとう会えなかった。本田氏の話だと500地区では青少年活動がまだまだ未熟でインターアクトなども校長の反対で成立しにくい学校が多い

そうである。ハワイは開放的な土地柄だけに、規則づくめに束縛されることを嫌い、又楽天的な人間が多くロータリーの運営についても、本土とは大きく違っているらしい。

ロータリー口情報 情報委員会 国際集会

東京国際大会（1978年5月14—18日）がだんだん近づきつつある現在、ここでR.I会長ジャック・デービス氏の次の言葉を紹介するのは、その時機を得たものと思う：「国際協議会とロータリー国際大会は、毎年、われわれに、そうであって欲しい、そうなりつつあるのだ、そうでなくてはならないのだ、という人間のあり方をかいま見せてくれる。そこに見られるのは、他人の欠点や異様なしぐさに対する寛容、他国の行動にひそむ動機を理解しようとする心構え、人種や宗教あるいはたまたま生れついた境遇とか階級的、党派的な対立などによって人間を差別しようとする一方的な主張に耳を貸すことを潔しとしない心… 力づくとは全く無縁であり、友愛によって高められた精神… そうした人間性である」。

ローターアクトの標語

最近のR.I理事会で「奉仕で結ばれた仲間同士」という言葉が、ローターアクト・クラブおよびその会員の用いる標語として採用された。

ロータリー財団奨学生の推薦

大学院課程奨学金または大学課程奨学金の申請は、本人の在住する地区のロータリー・クラブまたは本人が申請時において在学中の大学の所在する地区のロータリー・クラブの推薦する者でなければならない。

クラブ奉仕

「社会的、宗教的あるいは人種的にさまざまな会員の単なる混合体をつくるのがロータリーの目的なのではない。ロータリーが社会的地位、宗教的信条および国籍を異にした実業人や専門職業人を結集するのは、みんながお互いに相手に対する理解を深め、それによって共感と友情と親切とを高めることができるようにするためである」。

ポールP.ハリス

ロータリーでの重要な特権

ロータリーの会員のもつ重要な特権の一つに、会員を推薦する権利がある。自分がこの権利をもつようにしてくれた人のことを考えてみよう。そして、自分も誰かに同じことをしてやったことがあるのか、と。自分の友人を新会員に推薦することは、自分が現在ロータリーから得ている喜びのすべてを味わう機会をその友人にも与えるための第一歩を踏み出したことになる。このことをよくよく考えていただきたい。

平 和

「心が正しければ、行ないが美しくなる。行ないが美しければ、家に和が生じる。家に和があれば、国が治まる。国が治まれば、世界が平和になる」。

孔子の言葉

真 心

「人の真心の尊さに打たれたときの私の気持ちをそのまま伝えるだけの力をもった言葉が私には見当たらない」。

——ラルフ・ワールドウ・エマソン

職業奉仕

ロータリアンは、職業奉仕について、次の問題を熱心かつ不断に考慮すること以上に重要な貢献をすることはできません。その問題とは、どうすれば自分の会社を人情深いものにすることができるか？ また、自分のために働いてくれている男女や若い人たちの一人びとりに、その人たちが苦勞も、野心も、業績も、希望も、悲しみも、そして共々の事業の報酬もすべて私とわかち合う真の意味における私の事業上の家族であるということ、どうすれば知らせることができるか、ということでありませぬ。

——「奉仕こそわがつとめ」より

社会奉仕ロータリー青少年指導者養成プログラム

ロータリー青少年指導者養成プログラムは、若い人々のもっている指導者およびりっぱな市民としての能力を開発することを目的とするものである。これは、地区内における青年とすべてのロータリー社会のロータリアンとを引くくめるめた地区のプロジェクトである。このプログラムで、青少年指導者の激励と進んだ指導技術の教育が行なわれる。プログラム参加者の熱意と習得した新しい技術は、それぞれの出身地に持ち帰られ、それが、これら指導者を通じて若い人たちに影響を与えることになるのである。こうしたプログラムに参加、協力することは、りっぱな社会奉仕である。

運 と 腕

「風と波は、いつも、一番腕のある船乗りの味方をするものだ」。

——エドワード・ギボン

国際奉仕

平和は、日常、仕事の遂行に実際に当たっている実務家が自分の問題として追求するものになっていなければなりません。これらの人たちは、その生涯の目的としているものについてしばらく考えてみた場合、この問題に何よりも大きな利害をもっているのであります。彼らは、世界戦争と革命の方向に押し流されつつある現在のような状態によって最も損害を受ける人たちであり、また、自由、進歩および正義に基づく新しい秩序の出現によって最も恩恵を受ける人たちであります。

「平和への七つの道」より

最良の弁護士

こういう古い寓話がある。むかしある男が王様の前に被告として呼び出されることになり、3人の友だちに、自分といっしょにいてくれるように頼んだ。最初の友だちは断わった。2番目は、王宮の門のところまでなら、ということだった。そして、一番あてにしていなかった3番目の友だちだけが、王様の前

まで付いてきてくれた。この友だちが男のやったことをうまく弁護してくれたおかげで、王様はその男を放免したのである。

ちょうどこの話のように、死が人をその造物主のところに連れていくとき、その人には3人の友人がある。最初の友人は本人の財産で、これはいっしょにというわけにはいかない。2番目は本人の愛している者たちで、これは墓場まででは行ける。しかし、本人にずっと付き添い、裁判に勝たせてくれるのは、本人の善根という3番目の友人だけである。

奉仕がすべての人のつとめとなっているとしたら

もし、「奉仕こそわがつとめ」だということがあらゆる人に一挙にわかってもらえたとしたら、この世の中はどんなにすばらしいものになることでしょうか。不平も争いも消え失せるでしょう。生産や流通を妨げている山ほどの問題も解決できるようになるでしょう。チームワークが疑心や失望にとって代わることになるでしょう……われわれが本当にこうした夢を実現したいと思う場合、最も有望な対象として注目されるのは、ちょうどこれから職業生活に入ろうとしている新しい世代の働き手たちだ、というような気がします。「奉仕こそわがつとめ」という考えは、これら若者たちにとってきわめて魅力のある可能性をもつものと思います。

——「奉仕こそわがつとめ」より

出席報告

本日の出席	会員数	69名	欠席者	阿部(公)君、石川君、嶺岸君、三浦君、斎藤(栄)君、佐藤(昇)君、佐藤(友)君、佐藤(正)君、富樫君、渡会君
	出席数	59名		
	出席率	85.51%		

前回の出席	前回出席率	80.00%	メイクアップ	皆川君、阿部(公)君、嶺岸君、中村君、新穂君、内山君、丹下君一鶴岡西R.C 笹原君一仙台R.C
	修正出席数	64名		
	確定出席率	91.43%		